

森林（もり）づくりと木づかいのお便り

平成18年12月20日 第14号

CONTENTS

- 1 メッセージ（林野庁の紹介）
  - 【1】『林野庁とはこんなところ』（山地災害対策室長）
- 2 当庁の動き
  - 【1】気候変動枠組条約第12回締約国会議等の結果について
  - 【2】平成18年度「国有林野事業業務研究発表会」（第39回）の開催結果について
- 3 緑化に関する情報
  - 【1】森林ボランティア活動情報
  - 【2】第58回全国植樹祭シンボルマーク愛称募集のお知らせ
  - 【3】平成19年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの審査結果について
  - 【4】「世界自然遺産の森フォトコンテスト」作品募集のお知らせ
- 4 その他の情報（イベント情報等）

イベント情報

  - 【1】シンポジウム「文化遺産を未来につなぐ森づくり 2007」の開催について
  - 【2】「温暖化防止等と森林に関するシンポジウム」の開催について
  - 【3】「高尾山で冬芽の観察」の参加者募集について  
お知らせ
  - 【4】北海道森林管理局・根釧西部森林管理署「人事院総裁賞」受賞について
  - 【5】第3回エコプロダクツ大賞について
  - 【6】ニュースレター「集約化・提案型施業かわら版」について

編集後記

ご意見をお寄せ下さい。

1 メッセージ

- 【1】『林野庁とはこんなところ』（山地災害対策室長）

今回の『林野庁とはこんなところ』のご紹介は、林野庁森林整備部治山課山地災害対策室です。

『山地災害対策室(さんちさいがいたいさくしつ)』は、山崩れ、土石流、地すべりなどの山地災害への対策について取り組んでいます。日本の地形や気象条件は山地災害を起こしやすい特性を持っています。これは日本の山が険しく複雑な地形をしていて、川は急流が多く、雨も多いからです。山地災害対策室では山地災害を最小限にとどめ、安全で豊かな暮らしを実現できるように治山施設の整備などを行っています。

そして、この山地災害対策室を取りまとめているのが「上野(うえの)山地災害対策室長」です。

今日はそんな上野室長のメッセージをご紹介します。

私たちが住む町や村の多くは河川の運んだ土砂の造った沖積平野や扇状地の上にあります。また、山間部の棚田の多くはかつての地すべり跡地であったりします。普段は穏やかな山や川も一度豪雨に見舞われれば、山崩れ、土石流、地すべり、河川の氾濫等が起こり、大量の土砂を押し流して、甚大な災害をもたらします。今年も各地で多くのこうした災害が発生しています。

戦後の主な風水害による死者・行方不明者は、昭和34年の伊勢湾台風の5098人をはじめ昭和20年代から30年代にかけては千人を超えていましたが、その後、人的被害は減少傾向にあり、近年では100人を超える死者はほとんど見られなくなりました。これは崩れた山の斜面の緑化や土砂を止めるためのダムの整備など治山治水対策が着実に進められてきたことに加え、防災情報の伝達方法の改善や避難体制の整備などによるところが大きいと考えられます。

一方、近年、局地的な集中豪雨が増え、かつての異常雨量、たとえば一時間に50ミリや一日で数百ミリの雨の降ることが、今では珍しくなくなりつつあると言われています。こうしたことから山崩れの発生箇所の予測もますます難しくなっており、災害の防止のためには、治山ダム等の防災施設の整備に加え、都道府県、市町村から各個人レベルまでの各段階における防災意識の向上がますます重要となっています。

山崩れ等が起こる場合には、「山に亀裂が入る、湧き水が濁る、普段水のないところから水が出てくる、山鳴りがする、小石が落ちてくる」等の前ぶれ(予兆)が見られることもあります。短時間に集中的な豪雨があった時や数日間にかけて大量の雨が降った後にこうした現象が見られる場合には特に注意が必要で、地元の役場への通報や自主的な避難等適切な対応が望まれます。

「災害は忘れた頃にやってくる」の言葉のとおり、まさか動くまいと思った裏山が崩れることによって多くの貴い人命が失われています。

最悪の可能性を常に思い出して普段から心がけておくことにより、少しでもリスクを少なくしていくことが大事なことだと思われれます。

実際、雨降る夜中に自主的に避難することは、なかなか行い難いことですが、「そういうことも必要な」と普段から心がけていれば、まさかの時の判断・対応が少しでも早くなり、人命に関わる災害の防止に繋がることが期待されます。

今年の11月から林野庁のホームページに新たに「災害情報」欄を設けました。災害関連の緊急治山事業等の採択状況を掲載しており、今後、災害現地の写真やその復旧方法等について紹介していきたいと考えています。そちらの方も是非ご覧いただき、防災の一助としていただけたら幸いです。

「災害情報」欄はこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/sesakusyoukai/tisan/saigaijoho.html>

## 2 当庁の動き

### 【1】気候変動枠組条約第12回締約国会議等の結果について

平成18年11月6日(月)から11月17日(金)までの12日間、ケニアのナイロビにおいて、気候変動枠組条約第12回締約国会議(COP12)等が開催され、京都議定書第一約束期間終了後の将来の枠組等について検討が行われました。森林・林業関連としては、途上国の森林減少に由来する排出の削減などについて議論されました。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu/h18-11gatu/1121kikou.htm>

### 【2】平成18年度「国有林野事業業務研究発表会」(第39回)の開催結果について

国有林における地域特性に応じた森林の整備手法の確立、国民参加の森林づくり、森林環境教育支援等に関する研究成果を広く一般の皆様に普及するため、平成18年11月28日(火)に各森林管理局や地域関係者による研究発表会を開催し、受賞課題(最優秀賞)を決定しましたのでお知らせします。

詳しくはこちらをご覧ください。

[http://www.kokuyurin.maff.go.jp/new/2006/Kokuyu\\_New\\_Submenu18\\_09.html](http://www.kokuyurin.maff.go.jp/new/2006/Kokuyu_New_Submenu18_09.html)

その他のプレスリリースはこちら

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu.html>

## 3 緑化に関する情報

### 【1】森林ボランティア活動情報

全国各地でボランティアによる森林づくりが活発に行われています。

(社)国土緑化推進機構では、誰でも参加できる全国各地の森林ボランティア活動の情報を発信しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.green.or.jp/volun/info/katsudou.asp>

### 【2】第58回全国植樹祭シンボルマーク愛称募集のお知らせ

第58回全国植樹祭北海道実行委員会では、平成19年6月24日(日)に北海道苫小牧市で開催される第58回全国植樹祭のシンボルマークを、北海道の「北」の文字と「苗木」をモチーフとして、平成17年10月に公募

により決定しました。同実行委員会ではこのシンボルマークの親しみやすく、覚えやすい愛称を募集しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/zsj/bosyutop.html.htm>

### 【3】平成19年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの審査結果について

(社)国土緑化推進機構では、国土緑化運動の一環として毎年原画を募集し、緑化に関するポスターを作成しています。

57回目を迎えた今回は、全国の小・中・高等学校の児童生徒から65,938点の応募があり、このうち43点を入賞としました。

入賞作品のうち特選に選ばれたのは次の方々です。

#### 小学校の部

##### 文部科学大臣賞

古川孝一さん 長野県飯田市立三穂小学校5年

##### 農林水産大臣賞・国土緑化推進機構会長賞

立石明さん 徳島県吉野川市立知恵島小学校4年

(緑化運動ポスターとして採用)

#### 中学校の部

##### 文部科学大臣賞・国土緑化推進機構会長賞

川口真里奈さん 愛媛県新居浜市立南中学校2年

(育樹運動ポスターとして採用)

##### 農林水産大臣賞

佐伯麗香さん 静岡県牧之原市立相良中学校2年

#### 高等学校の部

##### 文部科学大臣賞

古山菜摘さん 茨城県立竜ヶ崎第一高等学校3年

##### 農林水産大臣賞

伊野恵梨奈さん 茨城県立土浦第二高等学校1年

これらの入賞作品は、来春「みどりの月間」(4月15日～5月14日)を中心に一般の方々に紹介される予定です。

### 【4】「世界自然遺産の森フォトコンテスト」作品募集のお知らせ

(社)国土緑化推進機構及び(財)林野弘済会では、平成19年から5月4日が新たに「みどりの日」として制定されることを記念し、また、多くの動植物の生息・生育の場であり、人間が生きていくうえで多くの恵みを与えてくれる「森林」に親しみを感じ、国民全体で「森林」を守り育てていこうという意識を高めていくため、平成17年に新たに登録された「知床世界自然遺産」をはじめ、白神山地、屋久島世界自然遺産の「森林」等を対象としたフォトコンテストを実施しています。

応募締め切りは平成19年1月31日(水)です。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.center-green.or.jp/photo/default.html>

#### 4 その他の情報 (イベント情報等)

##### イベント情報

#### 【1】シンポジウム「文化遺産を未来につなぐ森づくり 2007」の開催について

具体的内容 ・フィンランドの木造建築

・アラスカにおける天然林伐採

・日本文化と森林の歴史

講師等

建築家 パヌカイラ氏、(社)日本林業経営者協会副会長

原直道氏、哲学者 内山節氏ほか

開催日 平成19年1月20日(土)

場所 東京大学農学部弥生講堂

主催 文化遺産を未来につなぐ森づくりの為の有識者会議

詳しくはこちらをご覧ください。

[http://www.bunkaisan.jp/schedule/archives/2006/12/post\\_2.php](http://www.bunkaisan.jp/schedule/archives/2006/12/post_2.php)

#### 【2】「温暖化防止等と森林に関するシンポジウム」の開催について

具体的内容 森林は、木材資源の供給、水資源のかん養、国土の保全、植物を育むなど人類社会の生存基盤を支える多面的な機能を有しています。また、地球温暖化防止のための有効な方策として森林の整備、保全が進められています。

このような私たちの生活基盤を支えている森林を、今後どのように管理・保全し、活用すべきかということをテーマにシンポジウムを開催します。

開催日 平成19年1月25日(木)

申し込み締め切り 平成19年1月9日(火)

場所 東京国際フォーラム ホールD5

主催 社団法人 産業と環境の会

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.sankankai.com/>

### 【3】「高尾山で冬芽の観察」の参加者募集について

具体的内容 樹木の冬芽は、厳しい冬を越すために、重ね着をしたり、副芽を用意したり、春に芽吹くために様々な工夫をしています。  
いろいろな樹木の冬芽を観察し、冬の高尾山を楽しみませんか？

開催日 平成19年2月7日(水)  
申し込み締め切り 平成19年1月17日(水)  
場所 東京都八王子市 高尾山国有林  
主催 林野庁 関東森林管理局 高尾森林センター

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://homepage3.nifty.com/takaosc/ibent/fuyume.html>

お知らせ

### 【4】北海道森林管理局・根釧西部森林管理署「人事院総裁賞」受賞について

第19回「人事院総裁賞(職域部門)」に北海道森林管理局・根釧西部森林管理署「パイロットフォレスト造成事業実施グループ」が決定し、12月4日に授与式が行われました。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/jinjiinsosaisyo.html>

### 【5】第3回エコプロダクツ大賞について

第3回エコプロダクツ大賞のエコプロダクツ部門で紙製飲料缶「カートカン」(森を育む紙製飲料容器普及協議会、凸版印刷株式会社)が農林水産大臣賞に決定し、エコプロダクツ2006展示会において表彰式が行われました。

詳しくはこちらをご覧ください。

[http://www.gef.or.jp/ecoproducts/3rd\\_result/index.htm](http://www.gef.or.jp/ecoproducts/3rd_result/index.htm)

### 【6】ニュースレター「集約化・提案型施業かわら版」について

森林組合や森林所有者、林業経営者、木材業界、行政機関、NPO、これらの関係団体などの幅広い関係者を対象に、提案型集約化施業の普及・定着化と国産材の安定供給体制の整備に向けた各地の取組や行政の動きなどをお知らせするため、10月から月1回程度発行しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/sesakusyokai/syuyakuka/newsletter.html>

## 編集後記

12月22日は「冬至」です。一年中で昼が一番短く、夜が一番長い日です。この日にゆず湯に入ったり、かぼちゃを食べると、風邪を防いで病気にならないと言われています。これからますます寒さが厳しくなりますので、体調管理には十分気をつけて、元気に新年を迎えたいものです。

この一年間、林野庁メールマガジンをご愛読いただきまして、ありがとうございました。来年も引き続きよろしくお願い致します。

それでは、良い年をお迎え下さい。

ご意見をお寄せ下さい。

御意見、御要望、又は転載を希望される場合は、下記編集発行先にメールにてお寄せください。

## ご注意

メールマガジンに掲載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧頂くためには林野庁ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu.html>

をご覧になり、「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。

## 編集発行

〒100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1

林野庁 広報室 TEL 03 - 3501 - 3967

E - mail : kouhou\_rinseika2@nm.maff.go.jp

メールマガジンのバックナンバーや配信停止の手続き及びメールアドレスなどの会員情報の変更は下記サイトで手続きをお願いいたします。

パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をしてください。

バックナンバーは、こちらからご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/mailmagazine/mail.html>

メールアドレス等の変更

<http://www.maff.go.jp/mail/henko.htm>

変更には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

#### メールマガジンの配信停止

<http://www.maff.go.jp/mail/kaijo.htm>

配信停止の際には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

#### パスワード再発行

万一パスワードをお忘れの場合は下記より御登録いただいたメールアドレスを入力して、パスワードの再発行をしてください。

<http://www.maff.go.jp/mail/password.htm>